

第 48 回夏休み児童・青少年演劇フェスティバル中止のお知らせとお詫び

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

夏フェスは1972年に、現在では取り壊されてしまった東京都児童会館で第一回目がスタートし、幾多の困難を乗り越えながら現在の会場である、こくみん共済 coop ホール／スペース・ゼロやプーク人形劇場の協力を受け、47年間という長きに亘り継続してきました。そこには観客となる、未来を担う子ども達の光輝く姿があり、児童青少年演劇に携わる者の背中を押し続けてきたからです。

しかし、この度世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス禍では、三密を回避することが感染拡大予防策とされており、感染制御下の公演であっても目に見えないウイルスの不安を抱えながら観劇することは、本来のフェスティバルが持ち続けてきた趣旨と相反する問題になってしまいました。

私達は常日頃より児童青少年の健全育成を心掛け、舞台芸術を通じて子ども達に様々な作品を届けてまいりましたが、それは観客の子ども達が健康であり、会場では真っ白な心で舞台を掴む状況があればこそでした。

今回は国や東京都の方針を鑑み、これまで共催側と協議を重ねてきましたが、来場される子ども達および関係者の皆さまの健康・安全面を第一に考慮した結果、本年開催を予定していた夏フェスは中止することになりました。

夏フェス開催を心待ちにして下さっていたお客様、そして関係者の皆さま、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

児演協夏フェス担当理事 山根起己